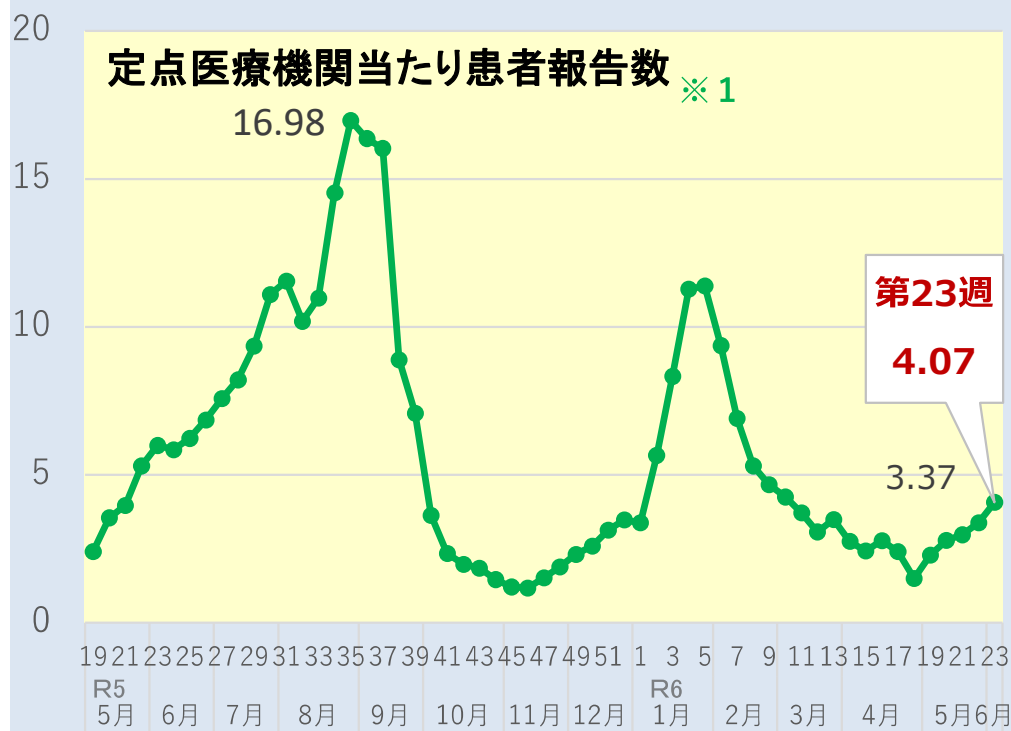


新型コロナウイルス感染症…五類感染症 - 夏に向けて注意が必要な感染症 -

東京都の状況（第23週：6月3日～6月9日）



※1 定点医療機関からの報告に基づく値（当該週の報告患者数／報告医療機関数）

※2 入院基幹定点医療機関からの報告に基づく値（当該週の入院患者数／報告医療機関数）（注）令和5年第39週から集計開始

これまでの傾向

- 例年、夏季と冬季に患者報告数が増加。昨夏は、8月下旬から9月上旬にかけてピーク

現在の状況

- 定点医療機関当たり患者報告数は、GW明けから5週連続で増加傾向
- 基幹定点医療機関当たり入院患者数も増加傾向

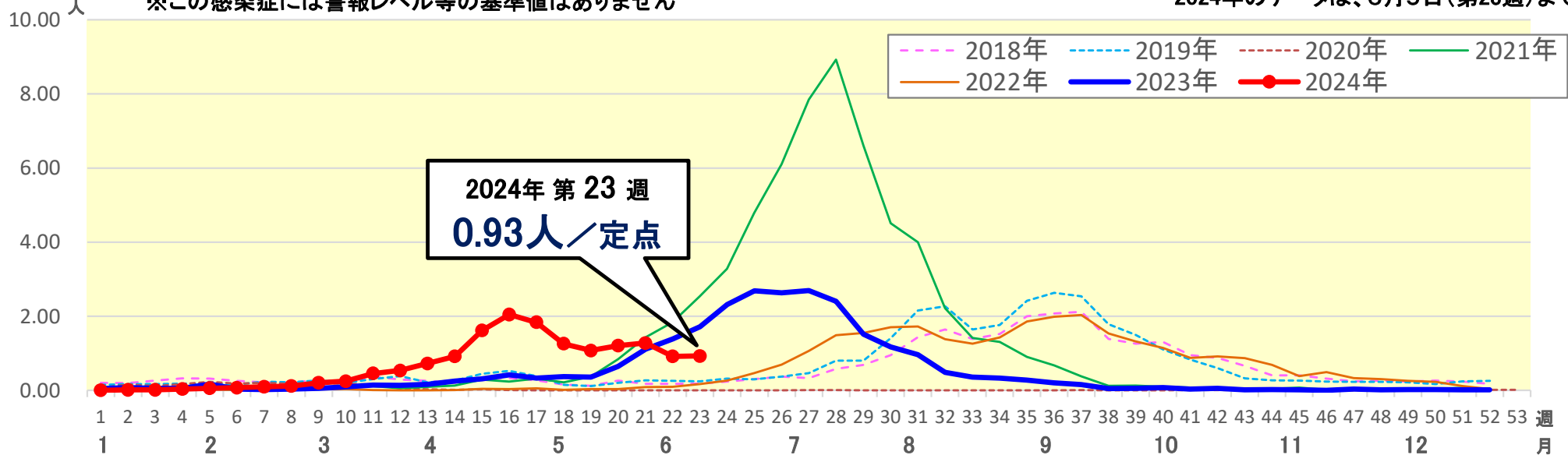
RSウイルス感染症 …五類感染症 - 夏に向けて注意が必要な感染症-

子供を中心に流行する感染症

都内における定点(小児科)あたりの週別患者報告数

※この感染症には警報レベル等の基準値はありません

2024年のデータは、6月9日(第23週)まで



流行の時期

- 過去は冬季に流行がみられていたが、近年は流行の開始時期が早まる傾向
- 本年は3月中旬頃から感染が拡大している

症状等

「RSウイルス」による呼吸器感染症（飛沫感染、接触感染）

- 1歳までに50～70%が感染し、2歳までにはほぼすべての小児が感染
- 症状は軽い風邪様症状から重い肺炎まで様々、まれに急性脳症を発症する
- 低出生体重児や心臓や肺に基礎疾患がある場合は重症化のリスクが高い
 → 一定の条件を満たした乳幼児向けの重症化予防薬(注射)が保険適応されている

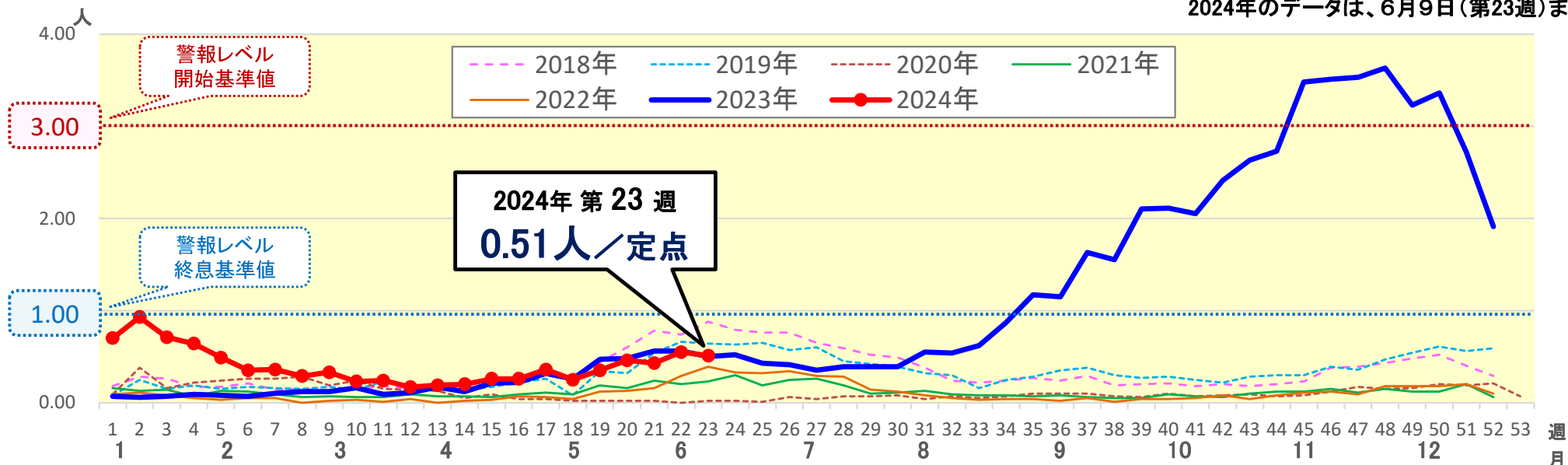
咽頭結膜熱 …五類感染症

- 夏に向けて注意が必要な感染症 -

子供を中心に流行する感染症

都内における定点(小児科)あたりの週別患者報告数

2024年のデータは、6月9日(第23週)まで



流行の時期

- 例年6月頃から徐々に流行し夏にピークを迎える
- 昨年は8月以降に再び増加し、**第40週に警戒レベルまで拡大**
- 今年は第23週時点で定点あたり0.51人(平年並み)

症状等

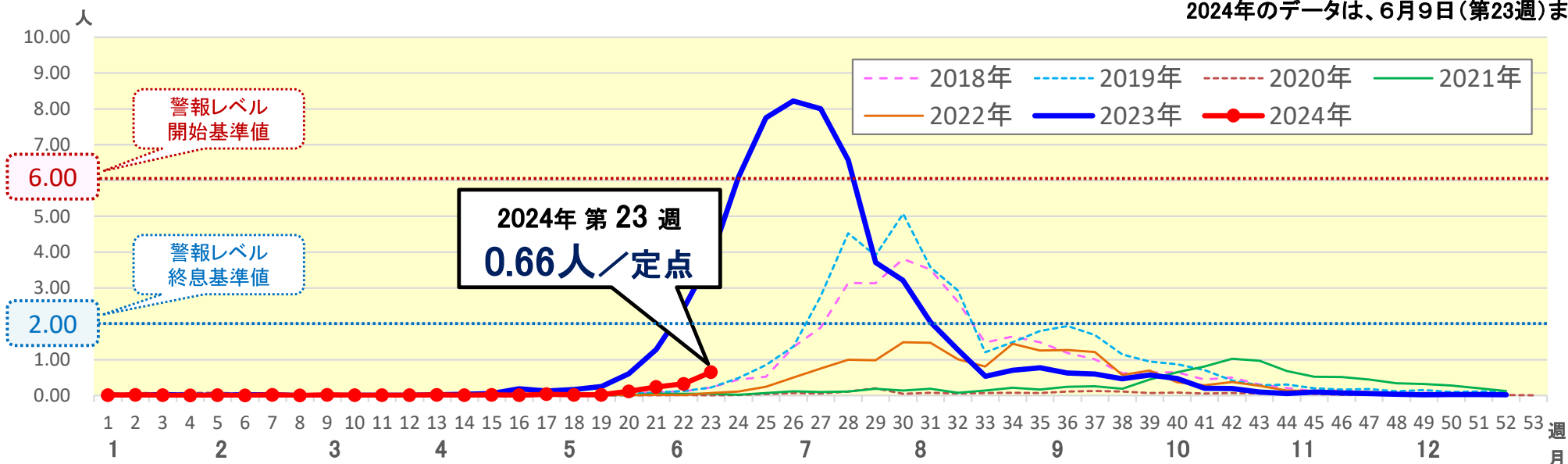
「アデノウイルス」による咽頭炎、結膜炎 (飛沫感染、接触感染)

- 39度前後の発熱、咽頭炎、結膜炎が1~2週間程度続く
- まれに重症化すると肺炎を合併

子供を中心に流行する感染症

都内における定点(小児科)あたりの週別患者報告数

2024年のデータは、6月9日(第23週)まで



流行の時期

- 例年6月頃から流行し夏にピークを迎える
- 昨年は5月中旬頃から感染が拡大、6月に警報レベルに達しピークを迎えた
- 今年は第23週時点で定点あたり0.66人でほぼ平年並み

症状等

「エンテロウイルス属」による咽頭炎（飛沫感染、接触感染）

- 38度以上の突然の発熱に続き、口の中にできる水疱が1週間程度続く
- 痛みにより食事や水分がとりにくくなるため、脱水症状に注意

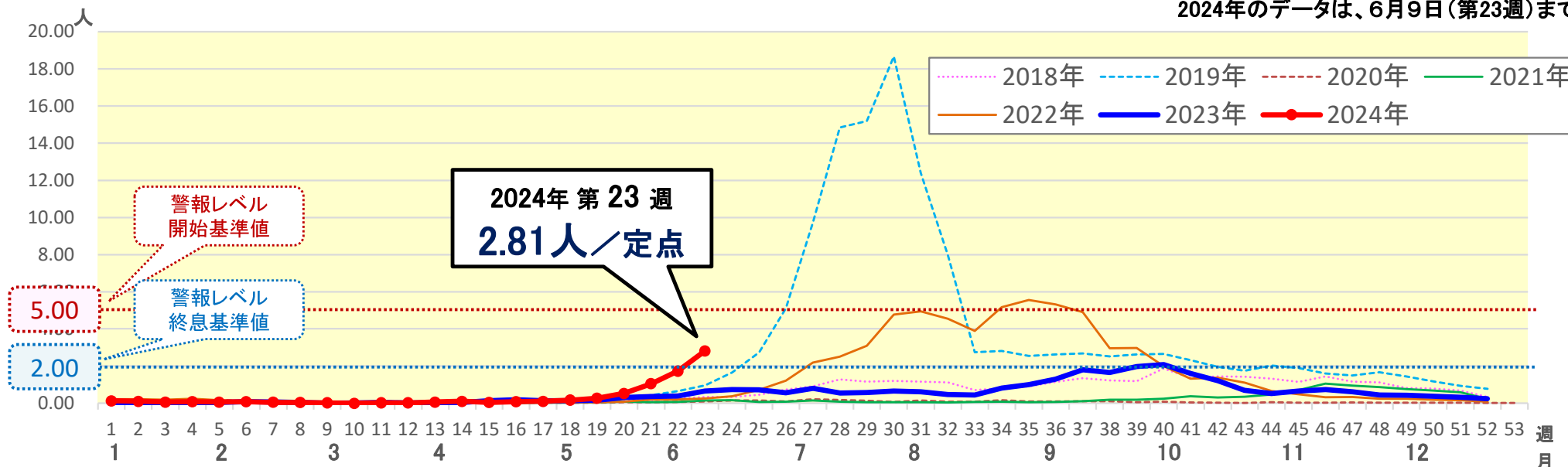
手足口病 …五類感染症

- 夏に向けて注意が必要な感染症 -

子供を中心に流行する感染症

都内における定点(小児科)あたりの週別患者報告数

2024年のデータは、6月9日(第23週)まで



流行の時期

- 例年6月頃から流行し夏にピークを迎える
- 今年は第23週時点で定点あたり2.81人、感染拡大に注意が必要

症状等

「エンテロウイルス属」による水疱性発疹（飛沫感染、接触感染）

- 発熱は3人にひとり、38度以下がほとんど
- 口腔粘膜、手掌、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出現
- 通常は3～7日の経過で消退する

症状等

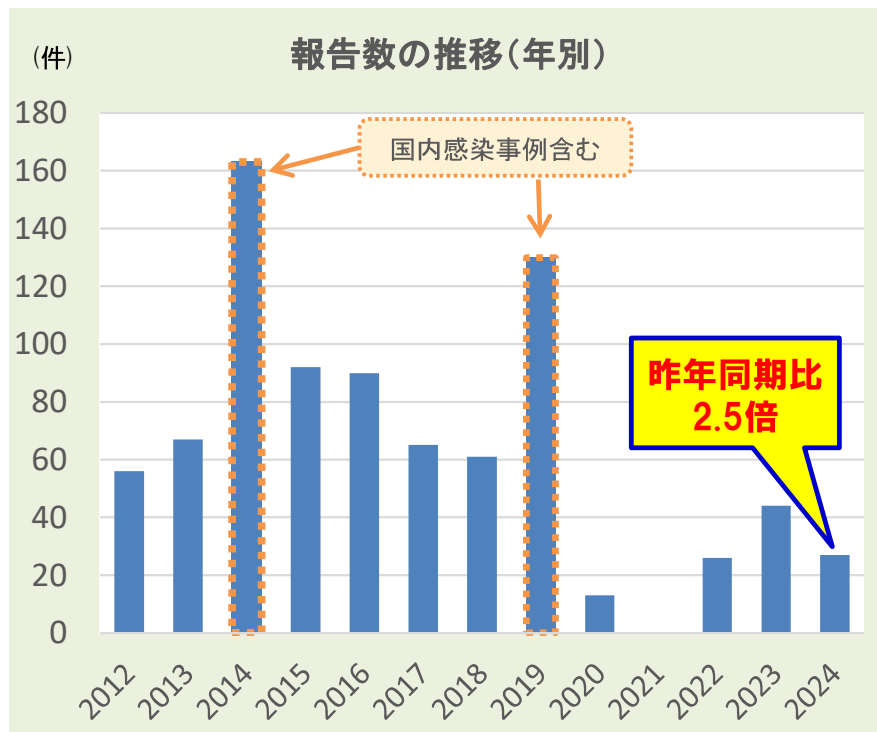
「デングウイルス」による発熱、発疹、頭痛など（蚊媒介感染）

- 発熱、発疹、頭痛、関節痛、筋肉痛など
- 重症化してデング出血熱やデングショック症候群を発症することがある

都における発生動向等

2024年のデータは、6月9日（第23週）まで

WHO/Disease Outbreak News/Dengue - Global situation/30 May 2024



輸入感染例の推定感染地（WHO地区別・2024年）



コロナ禍後の人流再開や、デング熱の世界的な流行により
デング熱の輸入例が増加する懸念

感染症媒介蚊サーベイランス(調査監視)

ウイルス保有蚊の生息調査・監視を実施

【蚊サーベイランスの概要】

	広域サーベイランス	重点サーベイランス
調査施設数	16施設	9施設
主な調査施設	お台場海浜公園 多摩動物公園 他	代々木公園 日比谷公園 他
調査期間等	6月～10月 (全10回)	4月～11月 (全14回)

【ウイルス保有蚊・ハイリスク地点の情報提供】



東京都感染症情報センターホームページ
<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/mosquito/mosquitomap/>

医療機関における診療の目安

『フォーカス(病巣)不明な発熱は海外渡航歴を聴取』

※ 蚊媒介感染症は感染箇所を示す局所症状がなく
全身症状(発熱、頭痛、関節痛など)だけのことが多い(専門家意見より)

海外渡航者や外国人患者を診療するための
医療機関向け研修会【7/3(水)～参加費無料】[申込受付中]



新型コロナウイルス・子供を中心に流行する感染症

- 換気、手洗い、場面に応じたマスク着用などの心がけを
- アルコールが効かないウイルスもあるため、石鹸で手洗いを



デング熱（蚊媒介感染症）

- 蚊を発生させない
 - ・ 身の回りの「**たまり水**」をなくし、蚊の発生を減らす。
- 蚊に刺されない
 - ・ 屋外で活動する場合等はできるだけ**肌を露出しない**。
 - ・ 適切に**虫よけ剤**を使用する。

